

令和6年5月門川町定例教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和6年5月23日（木） 午前8時59分～午前10時05分
- 2 場 所 教育長室
- 3 出席委員 金子文雄教育長、新名章教育長職務代理者、黒木昌代委員、山倉照子委員
- 4 事務局 大澤教育課長、川越教育課長補佐
- 5 議 案 議案第7号 令和6年度学校運営協議会委員委嘱について
議案第8号 令和6年度門川町奨学生の認定について
- 6 そ の 他 ・教育委員会6月の行事予定について
・6月定例会の日程について

7 会議の概要

(1) 開会（午前8時59分）

(2) 教育長あいさつ

- ・各学校では4月のスタートからそれぞれ工夫をしながら、ようやくレールに乗ってきたところである。町内学校での準公金等の不適正な取扱いについては報道のとおりであり、大変ご心配をおかけした。常日頃から綱紀肅正及び服務規律の遵守に取り組み、信頼回復に向けて努力して参りたい。また委員の皆様には、いろんな場面でご指導をいただけるとありがたい。

(3) 教育長報告

・5月業務報告

- 2日 学力向上プロジェクト委員会委嘱状交付式並びに第1回プロジェクト委員会
- 9日 社会教育委員及び図書館協議会委員委嘱状交付式
- 10日 県教育庁特別支援教育課来訪
教育支援教室担当者来訪
- 14日 令和6年度第66回全国町村教育長会定期総会並びに研究大会
- 15日 〃
- 17日 カンムリウミスズメプロジェクト委嘱状交付式
令和6年第2回臨時議会
- 19日 門川中学校体育大会
- 20日 まちづくり研究会委嘱状交付式
定例地区会長会
- 21日 寄付目録贈呈
定例課長会
- 22日 5月定例校長会
- 23日 5月定例教育委員会
- 24日 門川町教育振興研究会部長会

- 24日 門川町スポーツ少年団結団式
- 26日 門川町一斉避難訓練参加
- 28日 門川町教育研究所研究員委嘱状交付式
- 29日 門川町教育振興研究会総会
- 30日 日向・東臼杵地区市町村教育委員会合同意見交換会及び協議

・5月校長会の報告

金子教育長が校長会資料に沿って説明

- ①学校経営について 「管理」から「マネジメント」へ
- ②人材育成について 職員のキャリアアップ
- ③学校安全指導の推進について
- ④学力向上について
- ⑤生徒指導について
- ⑥家庭・地域との連携について 「教育の力で地域を変える」という目標の共有
- ⑦歯科保健の推進について フッ化物洗口導入の検討
- ⑧生理用品の設置検討の依頼について

○新名委員

学校での職員管理や学校経営において、校長一人が管理するのではなく職員全員で責任を持って取り組む意識が必要である。そのために学校という組織のチーム力を高めることが非常に大事だと思う。また、授業だけに目を向けるのではなく日常生活の中で子どもとしっかり向き合って思いを伝える姿勢を先生方をお願いしたい。

●金子教育長

今回の件は、起こさないシステムが十分に機能していたか、町としての取組が十分であったか反省するところである。信頼がミスにつながったとも言えるが、信頼関係を築きながらも組織として未然防止の仕組みや点検システムの整備に努めていきたい。

(4) 議事

議案第7号 令和6年度学校運営協議会委員委嘱について

黒木教育課長補佐が資料に沿って説明

令和6年度及び7年度の2カ年を任期とする学校運営協議会委員を委嘱したく教育委員会に諮るものである。

●金子教育長 承認いただけるか。

○委員 はい。

議案第8号 令和6年度門川町奨学生の認定について

川越教育課長補佐が資料に沿って説明

令和6年度奨学金申請のあった者2名について、門川町奨学規程により教育委員会に諮るものである。今回申請の1名については所得が基準額を超えるため不認定、1名については

所得、学業成績ともに基準内のため認定とすることに承認をいただきたい。

○黒木委員

2名については規定に基づいた結果なので問題ない。申請者が年々減っているのは返済のことを考えているからだろうか。広報は例年同じようにしているのであれば「申請しない」選択をする方が増えたということか。

●大澤教育課長

国や民間で給付型の奨学金制度が増えてきているのも要因の一つだと考えられる。

●金子教育長

前回の議会の質問であった人口対策等を兼ねた奨学金返還支援制度について、町としても検討していくと答弁している。今後は変わっていく可能性があるが現段階では規程に則った判断となる。承認いただけるか。

○委員 はい。

(5) その他

- ・教育委員会の6月の行事予定について
- ・6月定例教育委員会の日程について
6月20日（木）午前9時から

○黒木委員

先日の門川中学校の体育大会について、準備期間が短い中、また小雨の降る中での大会だったが、生徒も先生方も一生懸命で、徒走など全力で駆け抜ける子どもたちに感動した。エネルギーギッシュな子どもたちの頑張りを、一年を通じて伸ばしていけるといいと感じた。

○山倉委員

体育大会について、中学生からは「半日ではさみしい」という意見が多く聞かれた。

●大澤教育課長

今回の体育大会から5月開催となった理由は熱中症対策である。その面では練習中を含めスムーズな運営ができたと聞いている。新しい学年、学級となり、短い準備期間の中で練習し、どこまで完成させるかが課題としてあるのではないかと思っている。

●金子教育長

今後、生徒や先生方、保護者、地域の方たちの意見が集約されて検討されるだろう。

○山倉照子委員

学校での家庭訪問は無くなったのか。

●金子教育長

無くなったわけではないが昔ながらの家庭訪問をする学校は少なくなっている。町内でも学校での三者面談という形に変わってきているが、緊急時の対応等に備えて家庭訪問に替わる取組を各先生方が行っている。

○新名委員

本来、決められた期間に行うものだけを家庭訪問というのではなく、担任が一年間受け持つ子どもたちの家庭での様子を知りたいと思ったときに家庭訪問することで、子どもと保護者と

のコミュニケーションが取れるものだと思う。

●金子教育長

親子の関係もあるだろうと思うので、保護者と話をすることでコミュニケーションを取っていただきたいと思う。中学校では今週から来週にかけて参観週間となっている。地域の方にも参観してもらい、今後は地域の力も借りながら学校での対応、指導を行ってもらいたいと思っている。

○新名委員

中学校では生徒会活動が盛んになっている。5年後には活動がもっと充実したものになり、自分たちで行事を作り上げるくらいの力が付いてくるだろう。それを支えてあげることが周りの大人の責務である。実際に今、いろんな場所で中学生が活躍している姿が見られる。

●金子教育長

町の一斉避難訓練では防災士の資格を取得した門川中学校の生徒が地域の住民に対し講義を行うことになっている。そういった場で活躍する素晴らしい子どもたちが主となる学校にしていくことが大事だと思う。

(6) 閉会 (午前10時05分)